

誰もが利用しやすい駅をめざして

主要事業として整備していた愛知環状鉄道「瀬戸市駅」と名古屋鉄道「新瀬戸駅」との連絡通路（北口）が3月17日に完成しました。

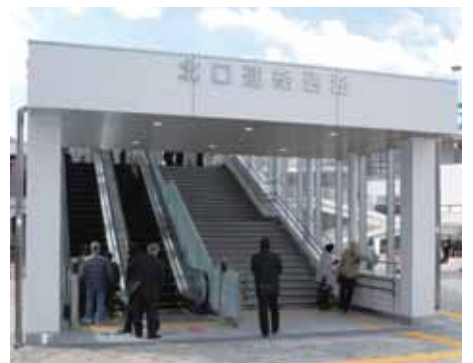
体が不自由な方にも利用しやすい駅をめざして、エレベーターやエスカレーターが設置してあります。また、通路の両側をガラス張りにすることで、開放感のある明るい空間になっています。

通勤や通学、お買い物などの際は、ぜひご利用ください。

昨年度主要事業



3月17日、これまでご尽力いただいた方々にエレベーターやエスカレーターを見学していただきました。



市民の皆さんが生き生きと安全に安心して暮らしていけるよう、長期的な視点に立った望ましい地域社会づくりをめざし、平成21年6月に、「瀬戸市まちなか交通戦略」「新瀬戸駅・瀬戸市駅周辺バリアフリー基本構想」を策定しました。

これらに基づき、移動しやすく住みやすいまちの実現に向け、市の中心的生活拠点「新瀬戸駅・瀬戸市駅」周辺で、バリアフリー化を進めています。

平成22年3月には、名古屋鉄道「新瀬戸駅」、平成22年10月には、愛知環状鉄道「瀬戸市駅」のバリアフリー化工事が完了し、エレベーターや多機能トイレが設置されました。

そして、このたび「新瀬戸駅」と「瀬戸市駅」を結ぶ連絡通路（北口）が完成しました。今年度は、連絡通路（南口）のバリアフリー化工事を計画しています。